



平成 26 年 11 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 4 月 2 日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-5384-7780
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 4 月 14 日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 11 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 25 年 12 月 1 日 ~ 平成 26 年 2 月 28 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 11 月期第 1 四半期	131,479	5.2	3,559	8.8	3,746	13.0	2,052	10.0
25 年 11 月期第 1 四半期	124,926	4.2	3,902	21.5	4,307	17.6	2,279	32.5

(注) 包括利益 26 年 11 月期第 1 四半期 2,959 百万円 (41.6%) 25 年 11 月期第 1 四半期 5,071 百万円 (5.6%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 11 月期第 1 四半期	13.71	-
25 年 11 月期第 1 四半期	15.22	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 11 月期第 1 四半期	322,975	212,482	57.3
25 年 11 月期	334,655	210,285	55.0

(参考) 自己資本 26 年 11 月期第 1 四半期 184,904 百万円 25 年 11 月期 184,204 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 11 月期	-	11.00	-	11.00	22.00
26 年 11 月期	-	-	-	-	-
26 年 11 月期 (予想)	-	11.50	-	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 11 月期の連結業績予想 (平成 25 年 12 月 1 日 ~ 平成 26 年 11 月 30 日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	269,000	3.7	11,600	0.8	11,900	3.7	6,200	3.1	41.41
通 期	545,000	2.7	24,500	9.4	25,100	5.7	13,000	3.4	86.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期1Q	153,000,000株	25年11月期	153,000,000株
期末自己株式数	26年11月期1Q	3,300,266株	25年11月期	3,278,555株
期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期1Q	149,710,593株	25年11月期1Q	149,723,524株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4．補足情報	11
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	11
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	13
(3) サラダ調味料の業態別販売量および金額（キユーピー株式会社）	13
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	13
(5) 営業外・特別損益の状況と主な増減内容	14
(6) 貸借対照表の状況と主な増減内容	14
(7) キャッシュ・フローの状況と主な増減内容	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高が継続する中、輸出企業を中心に業績が上向くとともに、所得や雇用環境の改善が進みました。そのような中、消費税率引上げに伴う駆け込み需要もみられ、個人消費は増加傾向でありました。

食品業界においては、簡便な商品へのニーズが一段と高まる中、中食の需要が増加しました。一方、円安等による原資材価格の上昇やエネルギーコストの増加などのコスト上昇圧力が続きました。

食品物流業界においては、物流業者間の競争が一段と激化したことや、物流に関する法規制の強化、軽油価格や電気料金の上昇など、厳しい状況となりました。

当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループ全体で挑戦する風土を醸成し、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長を遂げるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、国内でのイノベーション、海外への本格展開、将来への布石）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

・売上高

調味料事業やサラダ・惣菜事業などが好調に推移したことにより、1,314億79百万円と前年同期に比べ65億53百万円（5.2%）の増収となりました。

・利益面

主原料である食油価格や鶏卵相場の上昇などの影響を受け、営業利益は35億59百万円と前年同期に比べ3億43百万円（8.8%）、経常利益は37億46百万円と前年同期に比べ5億61百万円（13.0%）、四半期純利益は20億52百万円と前年同期に比べ2億27百万円（10.0%）の減益となりました。

セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位 百万円)

	前第1四半期 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	33,085	35,881	2,796	8.5%
タマゴ	21,846	24,086	2,240	10.3%
サラダ・惣菜	22,737	24,211	1,474	6.5%
加工食品	13,784	13,633	151	1.1%
ファインケミカル	2,267	2,313	46	2.0%
物流システム	28,433	30,017	1,584	5.6%
共通	2,770	1,335	1,435	51.8%
合計	124,926	131,479	6,553	5.2%

[営業利益の内訳]

(単位 百万円)

	前第1四半期 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	2,330	2,261	69	3.0%
タマゴ	647	65	712	-
サラダ・惣菜	398	369	29	7.3%
加工食品	397	88	309	-
ファインケミカル	325	217	108	33.2%
物流システム	255	603	348	136.5%
共通	343	259	84	24.5%
調整額	0	1	1	-
合計	3,902	3,559	343	8.8%

調味料

- ・海外での拡大が順調に進むとともに、国内もドレッシングが伸張り増収
- ・価格改定や増収、コスト改善により、主原料のコスト上昇をほぼカバーしたが僅かに減益

タマゴ

- ・国内鶏卵相場の上昇の影響に加え、中食向けの液卵と外食向けのタマゴ加工品が堅調に推移し増収
- ・タマゴ加工品の価格改定が、国内鶏卵相場の上昇に追いつかず減益

サラダ・惣菜

- ・需要増を後押しする提案活動と生産体制の強化で、カット野菜や惣菜が伸張り増収
- ・大雪の影響による費用が発生したが、コスト改善と増収効果により、営業利益は前年並み

加工食品

- ・外食向けの調理用ソースは伸張したが、富士山仙水（株）の売却も影響し減収
- ・商品の精鋭化の推進や、販売促進費の抑制により増益

ファインケミカル

- ・医薬用ヒアルロン酸の販売量は減少したが、医薬用E P Aの好調により前年並み
- ・医薬用ヒアルロン酸の販売量減少が影響し減益

物流システム

- ・専用物流などの既存得意先の取扱い拡大が進み増収
- ・増収効果に加え、コスト改善が進み増益

共通

- ・前年に発生した食品メーカー向け製造機械の販売分の反動により、減収減益

(2) 財政状態に関する説明

総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,229億75百万円と前連結会計年度末に比べ116億80百万円減少
主に「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」の減少、「建設仮勘定」、「投資有価証券」の増加による
- ・負債は、1,104億93百万円と前連結会計年度末に比べ138億76百万円減少
主に「支払手形及び買掛金」、「その他」に含まれる未払費用、未払金の減少、「引当金」の増加による
- ・純資産は、2,124億82百万円と前連結会計年度末に比べ21億97百万円増加
主に「利益剰余金」、「為替換算調整勘定」、「少数株主持分」の増加による

キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、286億42百万円と前連結会計年度末に比べ153億20百万円減少

各キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、売上債権、仕入債務、その他に含まれる未払費用、未払金の減少、引当金、たな卸資産の増加、法人税等の支払いなどにより1億22百万円の収入（前年同期は12億47百万円の支出）
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産、有価証券の取得による支出などにより146億88百万円の支出（前年同期は82億68百万円の支出）
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加、配当金の支払いなどにより10億4百万円の支出（前年同期は8億16百万円の収入）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、世界的な需要の高まりによる主原料コストの上昇や、消費税増税による市況の変化など、当社グループにとって予断を許さない環境が続くものと思われます。

当社グループは、平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画の2年目にあたり、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長をめざし、「国内でのイノベーション」と「海外への本格展開」を着実に進めてまいります。

国内においては、マヨネーズの万能調味料化や卓上化を進めるとともに、最適な生産体制の構築による効率化や増産への対応を進め、基幹領域を深耕してまいります。また、スーパーマーケットのチルド売場やネット販売、宅配ルートなど、新たな販路への展開に挑戦してまいります。

また、海外においては、中国や東南アジアの生産および営業の拠点を活用し、エリア特性に応じた展開によるアジアのマヨネーズ市場の拡大や、グループ資源の活用による世界的な外食チェーンとの取組みなど、アジアでの本格展開を進めてまいります。

なお、本年1月9日に公表しました平成26年11月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,967	23,646
受取手形及び売掛金	77,460	67,112
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	12,478	13,589
仕掛品	950	797
原材料及び貯蔵品	5,878	7,158
その他	5,943	5,422
貸倒引当金	242	189
流動資産合計	146,435	127,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	138,035	140,366
減価償却累計額	82,213	83,321
建物及び構築物（純額）	55,822	57,044
機械装置及び運搬具	133,368	135,561
減価償却累計額	109,274	110,382
機械装置及び運搬具（純額）	24,094	25,179
土地	42,191	42,942
建設仮勘定	7,401	9,947
その他	16,702	17,260
減価償却累計額	10,384	10,748
その他（純額）	6,318	6,512
有形固定資産合計	135,828	141,626
無形固定資産	2,667	2,570
投資その他の資産		
投資有価証券	23,536	25,085
前払年金費用	15,736	15,841
その他	11,026	10,889
貸倒引当金	575	573
投資その他の資産合計	49,724	51,241
固定資産合計	188,220	195,438
資産合計	334,655	322,975

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,786	44,458
短期借入金	8,312	9,773
未払法人税等	2,725	1,062
引当金	2,169	4,857
その他	31,907	22,279
流動負債合計	95,901	82,431
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,711	3,552
引当金	2,315	2,355
資産除去債務	332	334
その他	12,108	11,819
固定負債合計	28,468	28,061
負債合計	124,369	110,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,434	29,434
利益剰余金	132,491	132,897
自己株式	3,392	3,399
株主資本合計	182,638	183,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,771	4,401
繰延ヘッジ損益	4	8
為替換算調整勘定	3,200	2,523
その他の包括利益累計額合計	1,566	1,868
少数株主持分	26,080	27,577
純資産合計	210,285	212,482
負債純資産合計	334,655	322,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
売上高	124,926	131,479
売上原価	96,279	102,149
売上総利益	28,646	29,329
販売費及び一般管理費	24,744	25,769
営業利益	3,902	3,559
営業外収益		
受取利息	36	51
受取配当金	99	114
持分法による投資利益	62	-
為替差益	98	5
その他	193	180
営業外収益合計	491	351
営業外費用		
支払利息	60	67
持分法による投資損失	-	2
その他	26	94
営業外費用合計	86	164
経常利益	4,307	3,746
特別利益		
固定資産売却益	18	20
関係会社株式売却益	-	198
その他	0	41
特別利益合計	18	261
特別損失		
固定資産除却損	121	188
その他	25	15
特別損失合計	146	203
税金等調整前四半期純利益	4,179	3,803
法人税等	1,568	1,324
少数株主損益調整前四半期純利益	2,611	2,478
少数株主利益	332	426
四半期純利益	2,279	2,052

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年12月1日 至平成25年2月28日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年12月1日 至平成26年2月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,611	2,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,443	366
繰延ヘッジ損益	9	5
為替換算調整勘定	1,022	852
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	2,459	480
四半期包括利益	5,071	2,959
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,467	2,354
少数株主に係る四半期包括利益	604	605

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,179	3,803
減価償却費	3,312	3,677
持分法による投資損益（は益）	62	2
投資有価証券評価損益（は益）	6	2
引当金の増減額（は減少）	2,579	2,638
前払年金費用の増減額（は増加）	69	104
受取利息及び受取配当金	136	165
支払利息	60	67
固定資産除売却損益（は益）	102	170
売上債権の増減額（は増加）	4,119	10,694
たな卸資産の増減額（は増加）	1,011	2,039
仕入債務の増減額（は減少）	1,006	6,537
その他	6,847	9,106
小計	5,366	3,103
利息及び配当金の受取額	165	193
利息の支払額	75	87
法人税等の支払額	6,703	3,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,247	122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	5,000
有形固定資産の取得による支出	7,498	7,885
無形固定資産の取得による支出	380	79
投資有価証券の取得による支出	206	6
関係会社株式の取得による支出	-	2,184
子会社株式の売却による収入	-	432
貸付けによる支出	31	28
貸付金の回収による収入	46	41
その他	198	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,268	14,688
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	1,954	1,463
長期借入れによる収入	1,600	-
長期借入金の返済による支出	620	174
配当金の支払額	1,572	1,647
少数株主への配当金の支払額	287	337
自己株式の取得による支出	0	1
その他	258	307
財務活動によるキャッシュ・フロー	816	1,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	257	250
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	8,442	15,320
現金及び現金同等物の期首残高	40,387	43,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,944	28,642

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・ 惣菜	加工食品	ファイン ケミカル	物流 システム	共通	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)
売上高										
外部顧客への 売上高	33,085	21,846	22,737	13,784	2,267	28,433	2,770	124,926	-	124,926
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	841	1,402	77	439	87	5,624	2,210	10,682	10,682	-
計	33,927	23,249	22,814	14,224	2,354	34,057	4,980	135,609	10,682	124,926
セグメント利益 又は損失()	2,330	647	398	397	325	255	343	3,902	0	3,902

(注)セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・ 惣菜	加工食品	ファイン ケミカル	物流 システム	共通	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)
売上高										
外部顧客への 売上高	35,881	24,086	24,211	13,633	2,313	30,017	1,335	131,479	-	131,479
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,515	1,643	105	486	70	5,747	2,272	11,841	11,841	-
計	37,396	25,730	24,316	14,119	2,384	35,764	3,608	143,320	11,841	131,479
セグメント利益 又は損失()	2,261	65	369	88	217	603	259	3,557	1	3,559

(注)セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、端数が発生する場合があります。
 2. 本資料中の計画数値は本日現在における入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際には様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

【売上高】

(億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
24年11月期	調味料	328	357	685	365	1,049	336	1,386
	タマゴ	211	217	428	207	635	221	856
	サラダ・惣菜	209	232	441	246	687	228	916
	加工食品	140	156	296	147	443	148	591
	ファインケミカル	17	19	36	23	58	25	83
	物流システム	281	288	569	294	863	294	1,157
	共通	14	16	30	14	44	18	62
	合計	1,199	1,285	2,484	1,295	3,779	1,271	5,050
25年11月期	調味料	331	386	717	378	1,095	359	1,454
	タマゴ	218	223	441	222	663	248	912
	サラダ・惣菜	227	244	472	261	733	247	980
	加工食品	138	154	291	148	439	145	584
	ファインケミカル	23	22	45	23	68	29	97
	物流システム	284	299	584	311	895	309	1,203
	共通	28	17	45	14	59	17	76
	合計	1,249	1,345	2,595	1,357	3,951	1,354	5,305
26年11月期	調味料	359						1,560
	タマゴ	241						915
	サラダ・惣菜	242						1,000
	加工食品	136						580
	ファインケミカル	23						115
	物流システム	300						1,220
	共通	13						60
	合計	1,315						5,450
前年差	調味料	28						106
	タマゴ	22						3
	サラダ・惣菜	15						20
	加工食品	2						4
	ファインケミカル	0						18
	物流システム	16						17
	共通	14						16
	合計	66						145

平成26年11月期通期は、平成26年1月9日発表の計画数値を表示しております。

第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

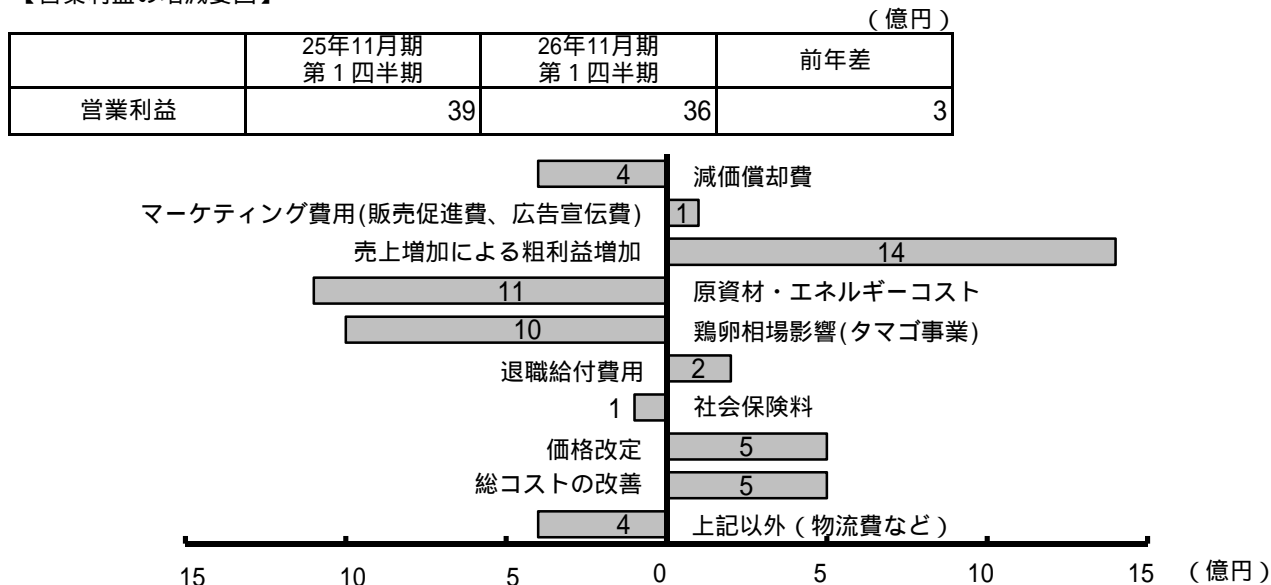
(億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
24年11月期	調味料	23	31	54	38	93	22	115
	タマゴ	13	14	27	12	40	9	49
	サラダ・惣菜	5	9	15	11	25	6	31
	加工食品	3	1	4	2	6	5	10
	ファインケミカル	2	2	4	3	6	3	10
	物流システム	7	10	16	11	28	5	32
	共通	2	2	5	2	7	1	8
	合計	50	67	117	75	192	42	234
25年11月期	調味料	23	40	63	29	92	23	115
	タマゴ	6	11	18	11	29	5	34
	サラダ・惣菜	4	10	14	13	27	7	35
	加工食品	4	0	4	1	5	4	9
	ファインケミカル	3	2	5	1	6	3	9
	物流システム	3	11	13	10	24	8	32
	共通	3	3	6	2	8	0	8
	合計	39	76	115	66	181	43	224
26年11月期	調味料	23						119
	タマゴ	1						41
	サラダ・惣菜	4						36
	加工食品	1						4
	ファインケミカル	2						11
	物流システム	6						35
	共通	3						7
	合計	36						245
前年差	調味料	1						4
	タマゴ	7						7
	サラダ・惣菜	0						1
	加工食品	3						5
	ファインケミカル	1						2
	物流システム	3						3
	共通	1						1
	合計	3						21

平成26年11月期通期は、平成26年1月9日発表の計画数値を表示しております。

第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益の増減要因】



(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(億円)

	24年11月期 第1四半期	25年11月期 第1四半期(A)	26年11月期 第1四半期(B)	前年差(B - A)
設備投資額	34	80	82	2
減価償却費	32	33	37	4
販売促進費	45	46	46	0
広告宣伝費	20	20	20	1
物流費	68	71	76	5
労務費	60	61	65	4
研究開発費	7	7	8	1

(3) サラダ調味料の業態別販売量および金額(キユーピー株式会社)

		24年11月期 第1四半期	25年11月期 第1四半期(A)	26年11月期 第1四半期(B)	前年差(B - A)
家庭用	販売量(千t)	31	30	30	0
	金額(億円)	177	172	179	7
業務用	販売量(千t)	25	25	25	0
	金額(億円)	93	94	97	3

平成25年11月期の商品カテゴリーの整理に伴い、平成24年11月期実績を補正しております。

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

(億円)

	24年11月期 第1四半期	25年11月期 第1四半期(A)	26年11月期 第1四半期(B)	前年差(B - A)
海外 売上高	45	53	72	19
中国	13	16	23	7
東南アジア	8	11	16	4
北米	20	21	29	8
日本からの輸出等	4	4	4	0
海外 営業利益	2	2	2	0

海外子会社(中国、東南アジア、北米)の数値は、10月から12月を対象としております。

(5) 営業外・特別損益の状況と主な増減内容

(億円)

	25年11月期 第1四半期	26年11月期 第1四半期	増減内容(25年11月期 第1四半期対比)	24年11月期	25年11月期	26年11月期 計画
営業外損益	4	2	持分法による投資利益の減少 1 為替差益の減少 1	11	13	6
特別損益	1	1	関係会社株式売却益の増加 +2	11	13	9

(6) 貸借対照表の状況と主な増減内容

(億円)

	25年11月期	26年11月期 第1四半期	増減	増減内容(25年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,464	1,275	189	現預金の減少 103 売掛債権の減少 103
固定資産				
有形・無形固定資産	1,385	1,442	57	取得による増加 +87 減価償却による減少 37
投資その他の資産	497	512	15	投資有価証券の増加 +15
(負債の部)				
	1,244	1,105	139	買掛債務の減少 63 未払費用の減少 60
(純資産の部)				
	2,103	2,125	22	為替換算調整勘定の増加 +7 少数株主持分の増加 +15

(7) キャッシュ・フローの状況と主な増減内容

(億円)

	25年11月期 第1四半期	26年11月期 第1四半期	増減内容(25年11月期 第1四半期対比)	24年11月期	25年11月期
営業活動による キャッシュ・フロー	12	1	売掛債権の減少 +66 仕入債務、未払金の減少 85 法人税等の支払額の減少 +36	332	274
投資活動による キャッシュ・フロー	83	147	有価証券の取得の増加 50 関係会社株式の取得の増加 22	244	219
財務活動による キャッシュ・フロー	8	10	借入金の減少 16	70	23